

## 第5回企業紹介

# 城山産業 株式会社

〒503-0937 岐阜県大垣市釜笛4丁目18番地

語り手：城山産業 株式会社 代表取締役社長 竹中 幸三 氏  
聞き手：大垣西濃信用金庫 常勤理事 地域活性化支援部長 田中 勝義

**田中理事** 平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、御社は平成28年に創業70周年の節目を迎えられました。

まず初めに御社の創業についてお聞かせ下さい。

**竹中社長** 弊社は終戦間もない昭和21年に創業者の竹中勇が岐阜県城山村（現 海津市南濃町）で友人3人と農機具の修理業を創業したのが始まりで、その地名が現社名の由来となっています。次に需要のあったラジオのトランス修理を独学で学び、修理用としてのコア生産を始めました。その約10年後、モーターコアに着手し、専業コアメーカーとして今日の業態の基礎を築きました。昭和42年に大垣インターチェンジの近くに大垣工場を建設しました。昭和55年には本社を大垣市に移転し金型工場を新設、さらに積層コアの自動生産設備を導入しました。この積層コア造りの自動化の技術開発により、大幅な生産性向上とコストダウンに成功しました。今日の当社があるのはこのおかげだと思っております。その後も工場を増設し現在に至っております。



代表取締役社長 竹中幸三氏



城山産業 株式会社  
創業 昭和21年1月  
設立 昭和22年6月  
事業 各種電気機器（モーター、トランス、ソレノイ等）の電磁鉄芯及び精密プレス金型製造販売  
資本金 6000万円  
従業員数 140名  
グループ会社  
・株式会社城山コアテクノロジー  
・株式会社韓国城山（韓国）  
・中城電器有限公司（中国）



昭和22年(1947年)6月1日設立

（昭和42年8月 大垣市に大垣工場を建設）



（平成19年3月 大垣市外野に第二工場建設）

— 御社の主な事業内容についてお聞かせ下さい。

**竹中社長** 弊社はモーターやトランスなどの電磁鉄芯であるコアの製造及びコア製造の為の精密順送金型の設計、製作をしております。モーターは普段直接目にするものは少ないですが、電化製品の中など多くの場合モーターが入っています。弊社が得意としており身近に利用されているモーターとして、以前はエアコン用コンプレッサーモーター、その送風機、また換気扇、扇風機モーター等、現在に於いてはハイブリッド車用モーター、大きなものではエレベーター用モーター、船舶向けの発電機、変電所で使われる大型変圧器用のトランスなどがあります。納入先についても、家電、自動車、OA機器、工作機器、産業機器等の幅広いメーカーを持ち、製品は生活に必要な不可欠な存在となっています。だからこそ、技術力もさることながら、ニーズへの対応力が重要になっております。



《モーター・発電機用コア》 《トランス・リアクトル用コア》



《ダブルクランクプレス》



《本社工場内》

— 御社の経営理念についてお聞かせ下さい。

**竹中社長** 弊社の経営理念は『誠実、信頼を軸とし豊かな創造力と高精度技術で産業界の核（コア）となる』としており、そのための行動指針を5つ設けています。

- (1) 高精度技術は、整然とした、環境と限りなき創造力から生まれる事を自覚し、誇れる職場作りにつとめます。
- (2) 取引先の立場になり、誠実な行動で良きパートナーとしての信頼を得ます。
- (3) 己を責めて人を責めず 信頼の輪をもって一致団結明るい職場作りにはげめます。
- (4) 自発的に絶えずムダがないかと気をくばり、コストダウンにつとめます。
- (5) 世界に誇れる企業を目指し、会社の繁栄と発展で豊かな生活を築きます。

そのような「行動指針」の実践により、平成21年には、当社はメーカーとして栄誉ある「2009年元気なモノ作り中小企業300社」の日本のイノベーションを支えるモノ作り中小企業部門に選ばれました。



《金型整備 金型の調整を行っている様子》



《人間性を持ったマルチカラー（ブルーカラー+ホワイトカラー）を目指します》

— 経営に対する想いについてお聞かせ下さい。

**竹中社長** 私自身は平成6年に代表取締役社長に就任致しました。経営者にはいろいろなタイプの人がありますが、私は率先垂範タイプではなく、どちらかというと社員の背中を押すタイプです。私自身は技術者ではなく、現場の経験もないため、現場には口出しせず、担当部門に任せてあります。弊社には腕のいい職人さんが大勢います。私の経営はその人たちが仕事をしやすい環境を整えてあげること、経営の先読みなど現場の人たちができないことをすることです。この点については、私が中途半端に技術のことを知らなかったことがかえって幸いしました。



《【社員旅行】70周年ハワイ旅行ディナークルーズにて》



《コミュニティールーム「ラウンジSHIROYAMA」》

— 最後に今後の抱負をお聞かせ下さい。

**竹中社長** 競合メーカーとの差別化と業容拡大を図るため、平成28年6月に部品加工、組み立て事業を分社化し、今後の業容拡大のため、平成28年6月に子会社「株式会社 城山コアテクノロジー」を設立しました。ここでは人手で行う仕事が多いため、生産体制の再構築と雇用延長に向けた勤務体系などを整備致しました。事業拡大に合わせて、社員にとっては定年後も安心して働ける労働環境を提供でき、会社にとっては今後の人材不足という課題解決につながるものと考えます。こうした取組を通して社員が「この会社において良かった」と言える会社になるよう努力してまいります。

— 本日は大変お忙しいところ、興味深いお話を賜り誠に有難うございました。日本国内トップクラスの電磁鉄芯メーカーとして、一層躍進されますよう御社の今後増々のご発展を祈念致します。